



# すまいるだより

## 「生きづらさを和らげる療育とは」

vol 35

### 【子育てのご相談】

子育て世代包括支援センター  
「えがお」(健康福祉課内)  
電話 0241(62)6170  
メール egao@nainaiizu.org

**私** たちの身近なところに、「療育」を提供する場合があります。

**町** 内では、「発達支援センター(ひかり園)」が、平成25年から活動を続けているほか、隣り合う下郷町には「さすけねえ和」、会津若松市には「ゆめみつ」という施設があります。

**み** なさんは、ここでいう「療育」という言葉をこ存じでしょうか。

**多** くの方から、「療育とは何か」「どんなことをするのか」という質問をいただきます。今回は、比較的新しい概念である「療育」について、説明したいと思います。

**病** 気やけがを治したり、痛みなどの症状を緩和したりするために、医学や

看護の技術を用いて対応する「治療」。

**学** 校はもちろん、職場や家庭などを通じ、物事を教え、人を育てる「教育」。

**早** 稲田大学の梅永雄二教授は、著書の中で「療育とは、その人にあつた暮らし方を教えること。生活上の困難を取り除き、軽減するための医学的・教育的対応」と定義しています。

**つ** まり、療育とは、対象となるお子さんが、生活の中で感じる「生きづらさ」を和らげる方法を教えていくことです。

**日** 常生活を送る上で、個性が非常に強いために、個

周囲と折り合いを付けることが難しいお子さんがいれば、療育の対象となります。

**例** えば、友だちと仲良くかかわらず、うまく遊べない。会話の中で、自分の話を一方的に続けてしまう。集団行動が苦手で楽しめない。何かに夢中になると、うまく気持ちを切り替えることができない。このようなケースで療育は有効です。

**療** 育によって、お子さんの個性に変化が起こるわけではありませんが、専門的な手立てを通じ、お子さんの特徴を知り、お子さんが何に困っているのかを理解するきっかけとなります。

**ま** た、お子さんが困っていること(問題となる行動)の原因を知ること、

適切な対処を講じることもつながります。

療育で見出したお子さんとの関わり方を、学校の先生や保育士さんと共有することで、集団行動の中で感じる困難を和らげることも期待できます。

**こ** の療育によりもたらされる変化が、お子さんが感じている「生きづらさ」を和らげる大きな一歩となります。

**周** 囲の大人たちが、適切な対処法を知らないがために、叱られ傷つくお子さんがいるかもしれません。

**冒** 頭でご紹介した施設を利用するかどうか、強制することはできません。ただ、療育は親御さんとお子さんが安心して生活を送るための

方法の一つであることを、ぜひ覚えてください。

もし、子育てに行き詰っているご家庭があれば、療育は新しい世界を見せてくれる扉になります。

**療** 育に関するお悩みや、ご不明な点などあれば、お気軽に「えがお」までご相談ください。

**お** 子さんの得意なことや不得意なことを踏まえ、療育の必要性を一緒に考えましょう。

### 【おすすめ図書】

たくさんのドア



アリスン・マギー / 著  
ユ・テウン / 絵  
なかがわちひろ / 訳